

今週（3月31日から4月4日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、年度末週となったが引き続きビッドサイドの調達ニーズが底堅く、相場は落ち着いて推移した。31日(月)から3日(木)までの加重平均レートは、0.476~0.477%での推移となった。年度末を跨ぐ取引となった31日には調達を控える先もみられたが、相場への影響は限定的であった。週末3日積みとなった4日(金)も大きな変化は無く、概ね横這い圏の水準で取引が行われた。

ターム物に関しては、1W~1M物で0.55~0.60%程度、3M物で0.60~0.62%程度の出合いとなった。

日銀当座預金残高は、週初530兆円程度で始まった。その後は概ね横這い圏の水準で推移する中、4日(金)に10年債発行の影響により528兆円程度まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、0.405~0.505%で推移した。31日(月)は、前営業日(28日)に未初物のレートが低下した影響から、やや低めの水準でスタートした。しかし、2Y債入札の結果発表後に投資家、業者ともに積極的なオファー姿勢がみられたため、その後はレート水準が上昇する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y445~469回、5Y150~175回、10Y355~377回、20Y180~191回、30Y65~85回、40Y13~17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移し、1Yゾーンが堅調に推移した。

4日(金)に実施された3M物入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気・ガス、卸売等の業態で大型発行が見られた。

市場残高は、3月末に発行体の有利子負債削減の影響により19兆9,962億円（前月比▲5兆2,148億円・前年同月比+2,573億円）まで減少した。しかし、1日(火)以降は期明けによる調達再開を受け、再び増加傾向となっており、足元では21兆円台前半まで回復している。

発行レートは、引き続き0.50%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/31 (月)	35,617.56	1.485	149.48	0.476	0.452	5,304,600
4/1 (火)	35,624.48	1.500	149.80	0.477	0.481	5,285,800
4/2 (水)	35,725.87	1.470	149.79	0.477	0.484	5,287,200
4/3 (木)	34,735.93	1.360	148.01	0.476	0.485	5,296,300
4/4 (金)	33,780.58	1.160	145.94	0.477	0.495	5,282,700

来週（4月7日から4月11日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/7 (月)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 2月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				2月の米消費者信用残高
4/8 (火)	2月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 3月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	30Y 4/9発行 8,000億円	交付税借入 4/15借入 11,000億円		
4/9 (水)	植田総裁 第100回信託大会における挨拶 3月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB6M 4/10発行 35,000億円			2月の米卸売売上高
4/10 (木)	3月の企業物価指数(日銀 8:50)	5Y 4/11発行 24,000億円	IJ*借入 4/21借入 8,192億円		3月の米財政収支 3月の米消費者物価指数
4/11 (金)	3月のマネーストック(日銀 8:50)	TB3M 4/14発行 45,000億円			3月の米生産者物価指数 4月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/7 (月) 日銀予想	700	▲ 10,100	▲ 9,400	国債買入	2,200		2,200	▲ 7,200	TB3M発行▲45,000 償還45,000
4/8 (火) 弊社予想	1,000	3,000	4,000				0	4,000	
4/9 (水) 弊社予想	1,500	▲ 8,000	▲ 6,500				0	▲ 6,500	30Y発行▲8,000
4/10 (木) 弊社予想	500	4,000	4,500				0	4,500	TB6M発行▲35,000 償還35,000
4/11 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 19,000	▲ 19,500				0	▲ 19,500	5Y発行▲24,000 交付税借入▲13,000 期日13,000
週間合計	3,200	▲ 30,100	▲ 26,900	—	2,200	0	2,200	▲ 24,700	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45~0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、9日(水)に6M物、11日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、特段大きなイベントはないものの、期明けの調達再開により案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では7日(月)に2月の毎月勤労統計調査速報、8日(火)に2月の国際収支、3月の景気ウォッチャー調査、9日(水)に植田総裁 第100回信託大会における挨拶、10日(木)に3月の企業物価指数、海外では10日(木)に3月の米消費者物価指数、3月の米財政収支、11日(金)に3月の米生産者物価指数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。